



萩原朔太郎とその資料

萩原朔太郎の詩に出会う 前橋文学館



ほべたん前橋文学館へ!

原朔太郎を中心に、前橋ゆかりの文学者を紹介するスポットです。

朔太郎は明治19年、前橋市の裕福な開業医の長男として生まれました。前橋中学校在学中に文芸誌に短歌を発表し始め、27歳のとき、室生犀星の詩に感動して詩作の道へ。大正6年に刊行した詩集『月に吠える』は、話し言葉を使い自由なうたう「口語自由詩」というスタイルで、現代の文学にも大きな影響を与えています。



朔太郎展示室

文学館では、朔太郎の直筆原稿や愛用の楽器など貴重な資料を展示するほか「詩に興味がない人や文学が苦手な人も、心に響く言葉と出会えるように」と、様々な仕掛けを用意しています。

館内に入る前に飛びこんでるのは、エントランスの壁面に大きくプリントされた朔太郎の詩。窓があり、のぞいてみると、そこにもガラスにプリントされた詩が。「館内外のいたるところに詩を散りばめているので、巡りながら見つけてみてください。さいね」と前橋文学館の高坂さん。

詩を文字で読むだけでなく、さまざまな形で体験できるのも前橋文学館ならでは。専用のスマホアプリを使い、詩の朗読やアニメーションが流れるバーチャルな詩の世界も楽しめます。朔太郎の詩をモチーフにした、からくり人形劇場も上演し、音楽と光機械仕かけの人形がおりなす幻想的な舞台は、詩の世界へと誘いこむよう。文学になじみがない人も、館内をひと巡りすれば、詩がぐんと身近になります。



萩原朔太郎の書齋



広瀬川



前橋文学館
住所：前橋市千代田町三丁目12-10
営業時間：9:00～17:00(入館16:30まで)
休館日：水曜
TEL：027-235-8011
特別企画展「青猫」が「定本青猫に辿りつくまで」開催中。
会期：～5月26日(日曜)

編集だより

文学館そばに、前橋名物の酒種まんじゅう、「片原饅頭」を復活させた店があると聞いて訪ねました。創業1832年、後継者不足による2度の閉業を経て2023年に開店。今も酒種を育てるところから製造しているそう。「おいしいお饅頭を一生懸命つくっています。ぜひ、お召し上がりください」(富田店長)。



片原饅頭 前橋本店
住所…前橋市城東町2-3-8
広瀬川サンワパーキング1階東
TEL…080-5073-5834
営業時間…10時～売り切れ仕舞い
前日までの予約優先
定休日…日・月・金

※掲載した店舗・施設は、定休日以外に臨時休業となる場合もあるので、ご了承ください。
※一部取材先より画像をお借りしています。